

札幌で始まった沖縄と軍隊を考えるパネル展



沖縄 女性の被害は

慰安所、暴力証言や写真紹介

札幌

太平洋戦争中の日本軍や戦後の米軍が沖縄で行った性暴力などを告発する、パネル展「軍隊は女性を守らない」(実行委主催)が19日、札幌市北区北7西6の北海道クリスチャンセンターで始まった。

戦争末期の「集団自決」や、日本軍が沖縄に設けたとされる「慰安所」について、関係者や慰安婦にされた女性

展示は23日までの午前10時〜午後8時(23日は午後6時まで)。また、元那覇市議で「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」の高里鈴代共同代表の講演が22日午後1時半から同センターで開かれるほか、沖縄戦の映画「ぬちがふう玉砕場からの証言」の上映会が21日に札幌工ルプラザ(北区北8西3)、23日に同センターで行われる。上映時間や料金の問い合わせは札幌映画サークル ☎011・747・7314へ。(関口裕士)

性の証言、当時の写真や資料などを23枚のパネルで紹介。米兵による性暴力被害も一覽にまとめた。

パネル展の開会あいさつで、竹村泰子元参院議員(80)は「戦争では女性や子供など弱い立場の人が虐げられ屈辱を受けた。あまり知られてこなかった事実を多くの人に伝えたい」と話した。